

外国出身者のための

しょうがつ まな - こうぎ

お正月のマナー講座



かいさい 開催しました!

12月3日(日) 交流ひろばにて、「外国出身者のためのお正月のマナー講座」を開催しました。12名の外国出身者が参加し、年賀状やお年始の挨拶、初詣の作法など、お正月に関するしきたりやマナーについて学びました。後半は実際に煎茶を淹れて、お茶とお菓子をお客様にお出しする練習もしました。楽しく日本の風習とマナーを学びました。



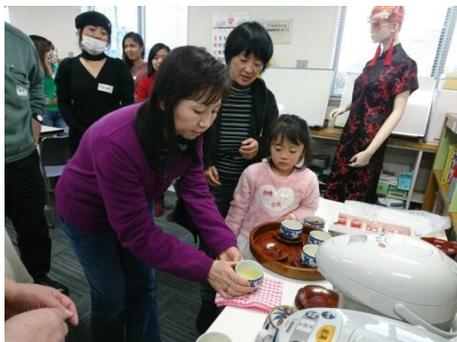
講師の佐藤万里子先生。和食マナー講座の講師や菖句流しの浴衣の着付など、いつもサロンの活動に力を貸して下さいの先生です。



小さな門松とお飾りを使って込められた意味を学びました。鏡餅を飾るのは「丸くて白いものに福が宿る」という考え方に基づくそうです。



日本の礼儀作法の基本は「左上位」の考え方。参加者たちは背院生のお話に熱心に耳を傾けていました。



実際に煎茶を淹れてみました。最初にお茶碗にお湯を入れて、適温に冷ましてから急須にいれます。



和菓子には手を触れないよう、上手に蓋を使って掴み、そっと懐紙に置きます。



参加者同士、お互いをお客様に見立てて、お茶とお菓子をお出しする練習をしました。



お菓子はお正月らしく福梅。小松屋さんに作っていただきました。かわいらしい見た目に、参加者から歓声が上がりました。

黒文字の菓子箸。事前にお湯につけて濡らせ、ふきんで拭いて箸袋に戻してお出します。箸にお菓子がかずい食べやすくなるそうです。細やかな心遣いに参加者も感心。



みなでお茶とお菓子を頂きながら、先生に質問したり、参加者同士で歓談したり、楽しくて勉強になる講座でした。